



色々な世代の人と話す事が楽しい！高校生の意見も聞いてくれて嬉しいです。

奥さんのふるさとに移住してきました。奥出雲町が好きでずっと住み続けたいので、町がより良くなるために参加しました。

高校生と話ができたことが新鮮!!

いろいろな意見が聞けて参考になりました。

奥出雲町タウンミーティング開催

10月6日と10月20日の2日にわたり、役場仁多庁舎において奥出雲町タウンミーティングを開催しました。このタウンミーティングは、町内の各世代の皆さんに町の課題やまちづくりについてのご意見を伺う場として昨年度から開催しています。

今年は、10年後の理想の奥出雲町についてグループワークで話し合い、理想を実現するためにできることについて参加者が発表しました。また、当日のファシリテーターとして「株式会社風と土」から阿部悠志さんと岡部有美子さん、タウンミーティングの模様を描いてもらうグラフィッカーとして「NPO法人場とつながりラボホームズビー」の山本彩代さんを招き、話し合いを盛り上げてもらいました。

この2日間でまちづくりに対する意見をたくさんいただきました。いただいたご意見は、町政運営のほか次期総合戦略策定に活用します。

※昨年度いただいた「託児があると良い」という意見を反映し、子育て世代が安心して参加できるよう託児スペースを設けました。

託児スペースがあり、とても参加しやすかったです。



おねんねタイム

今回テーマ「若者にとって住みやすい奥出雲町とは？」

奥出雲町の人口の現状は、高校卒業後の進学・就職による町外流出が多く、特に20歳～44歳の女性が著しく減少しており、これに伴い、出生率も低い状況です。少子高齢化が進む中で、若い世代が奥出雲町に住み続けたいと感じるには何が必要かを、世代を超えて話し合いを行いました。



▲グラフィックファシリテーターが話し合いの様子をその場でまとめたもの

第1回（10月6日）

第1回目は、「10年後の理想の奥出雲とはどのような町か」について、参加者が、何を重要と感じているか意見を出し合いました。そして、参加者から出たキーワードは「子育て」「教育」「仕事づくり」「交流の場づくり」「関係人口の拡大」でした。

第2回（10月20日）

第2回目では、第1回目で出た5つのキーワードをテーマとし、参加者が自身の興味のあるテーマについて「私ができること」「役場がすること」「私と役場と一緒にできること」について話し合いを行いました。その後、参加者から話し合いたいテーマを提案してもらいました。「気軽に相談できる何でも相談窓口」、「ケーブルテレビを活用した子育て情報発信」や「小学生が楽しめる放課後の学び場づくり」など、様々な視点から提案があり、参加者が提案者と共に実現に向けて意見を出し合いました。



阿井小学校4年生の和牛審査体験学習

9月27日、町和牛改良組合阿井支部の肉用子牛品評会に併せ、阿井小学校4年生による和牛審査体験学習が行われ、奥出雲和牛について理解を深めました。

4年生7名は、県の農業普及員から審査のポイントを教わった後、品評会に出品された子牛11頭の体を触りながら確認したうえで、児童全員で話し合い、上位3頭を決定し、手作りの賞状で出品者を表彰しました。



阿井小学校4年生・町和牛改良組合阿井支部の皆さん

奥出雲町肉用子牛共進会を開催 和牛改良の成果（審査結果）

令和元年度第2回奥出雲町肉用子牛共進会が、10月4日に仁多中央家畜集合所において開催されました。

この会は、肉用牛の改良増殖と畜産経営の発展を目的に開催されており、町内9地区および奥出雲町農業公社から選ばれた37頭の肉用子牛が出品され、審査員によって個体審査、比較審査が行われました。

会場には町内の畜産関係者が訪れ、審査の様子を見守っていました。

順位	名号	出品者(地区)
特選賞首席	ふくのゆき	奥出雲町農業公社繁殖育成センター
特選賞2席	ゆりひさ	勝田 律江 (阿井)
特選賞3席	さほひめ	金倉 弘美 (阿井)
特選賞4席	はるか	荒川 佳史 (鳥上)
特選賞5席	さち	堀尾みさこ (八川)
団体優勝		阿井支部

令和元年度島根県種畜共進会開催

10月19日、松江市宍道町の島根中央家畜市場で、令和元年度島根県種畜共進会が開催されました。

県内の市町村から選抜された肉用種牛の部47頭、乳用種牛の部34頭が出品され、発育、栄養度などについて審査が行われました。

奥出雲町からは、肉用種牛の部に7頭、乳用種牛の部に5頭が出品されました。

阿井地区の勝田律江さん出品の「ゆい2」号が肉用種牛の部に第4区成雌牛区の優秀賞第4席に選ばれました。

出品者の皆様、応援いただいた皆様をはじめ、関係各位にお礼申し上げます。これからも地域をあげて優良牛の飼養育成に取り組んで参ります。



▲特選賞首席の「ふくのゆき」号

JR出雲横田駅 新しめ縄を新調しました!

JR出雲横田駅のシンボルである大しめ縄の掛け替えが10月27日に行われました。

大しめ縄は、前回の掛け替えから約10年が経過したことや、令和元年という節目を機に横田駅前商店会、稲田自治会と横田高校生のみなさんにより新調されました。今後も多くの乗客の皆さまがJR木次線をご利用され、学業の成就、また来訪客が増え続けていくよう願いが込められています。



しめ縄づくりを手伝った横田高校の生徒もお披露目に出席しました